

アスパラガス春芽増収への養分転流について

PKゴーの2000倍葉面散布

1.目的

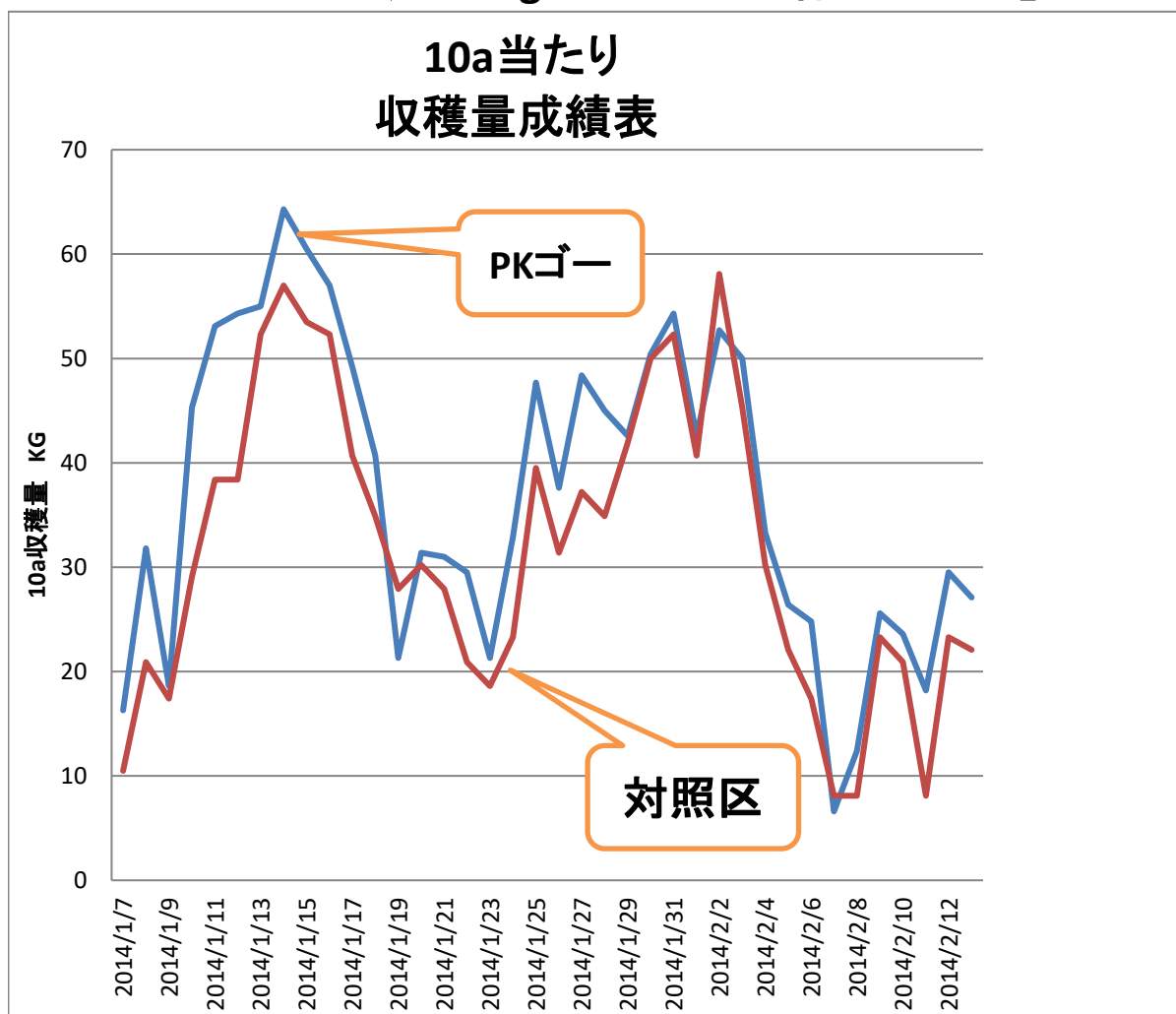
アグリ技研（株）

- ①生育後半の養分転流促進を行うことで、春芽増収を目的とする。
- ②春芽の揃いを良くすることで、立茎作業や若茎の充実促進を目的とする。

2.使用方法

- ①11月中旬～葉面散布開始（平均気温15℃前後から）
- ②11月下旬には養分転流も最盛期を迎える。（最低気温10℃最盛期）
- ③葉面散布を主に2000倍で3回～実施します。
（灌水処理の場合には、1kg/10aを3回処理）

「PKゴーは、200kg以上の収量増となった」



（JA佐賀県試験参照）